

高雄タイムズ No. 1

発行：京都市建設局道路部道路建設課

小中学校付近の国道162号で歩道を整備します！



学校の前でも大型車は立ち往生します

今までも京都市は、状況を少しでも改善するため、現状の道路幅の中でガードレールを設置したり、歩きやすくするためにブロックの段差をなくしたり、といった対策を行ってきました。しかし、そのような整備では今以上に状況を良くすることが難しいため、京都市はこの高雄地区を『歩いていても』『自動車などを運転していても』安全で快適に通行できるようにするための計画をしています。

そこで、「京都市はどのようなことをするのか」ということや、「今、計画はどの程度進んでいるのか?」といった情報を、正確に、多くのみなさんにお伝えするために、『高雄タイムズ』を発行することにしました。

みなさんに喜ばれ、親しまれる道路をつくるため、みなさんと一緒に考え、精一杯がんばりますので、みなさんのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

高雄地区の今

高雄地区のメインルートである国道162号は、京都市中心部から高雄地区や中川地区、京北地域を通って福井県敦賀市に至る道路で、別名、周山街道とも呼ばれる、昔からの幹線道路でした。

国道162号沿線の中でも高雄地区は、紅葉の名所として名高い神護寺、西明寺、高山寺やその周囲の山々、また、京都(山城)最古の八幡宮といわれる平岡八幡宮などがあり、



子どもたちが安心して通学できるように...

京都の中でも人気の高い観光地として特に有名な地区で、観光シーズンには数多くの観光バスが続々と押し寄せています。しかし道路は、大型車両がはちあわせして立ち往生するなど危険な状態が続いています。

また、歩行者の方々、特に小中学校へ通われているお子さんたちは、道路が狭くて白線も引けないような所を何人かがかたまって歩いたり、整備されておらず歩きにくい上に、人気の少ない寂しい旧道を通られたりと、まさに危険と隣り合わせの状態です。

京都市の考えと取組み

現状を抜本的に改善するためには、バイパスの建設による通過車両の生活道路からの排除など非常に大規模な事業が必要になります。そのような大規模事業は、着手すること自体が非常に難しいうえ、効果が現れるまでにとても長い年月がかかります。

現状の高雄地区は、特に歩行者にとって非常に危険な状態で、中でも小中学校へ通学されるお子さんたちの安全確保はすぐにでも必要なことから、京都市では、小中学校周辺と、通学路となっている部分で、旧道などの迂回路が無い、右ページの図にある約700m区間の改良を検討することとし、昨年からのこの区間について、右の枠内に示すような道路概略設計や地質調査を行ってきました。

道路概略設計

道路整備の方法について、いくつかの案を立案し、それぞれの案について『良い点』『悪い点』を抽出し、検討する作業です。

地質調査

- 1 地表踏査
山の中をくまなく歩き、露出している岩などから地中の様子を予想する調査です。
- 2 弾性波探査
人工的に起こした振動を読み取り、大まかな地質の状況を把握する調査です。
地質状況を正確に把握するには実際に掘削（ボーリング調査）しなければならないため、その事前調査として行います。

地元の方々と一緒に

京都市は、道路の検討、調査と並行して、今年2月15日、地元の代表の方々や駐在所のお巡りさん、小・中学校の校長先生やPTA代表の方々と、現在の危険な状態や箇所を改めて確認するため、『現地確認作業』を行いました。地元の方々と実際に国道を歩き、危険な場所を一緒に確認するとともに、一見ただけでは分からない危険な状態などを教えていただき、それぞれの場所で「ガードレールなどでかろうじて確保している歩行スペースも、狭すぎて雨の日に傘がさせない」ことや「斜面の木が倒れて、歩行スペースさえ通れないことがある」など、貴重なご意見を伺いました。



「現地確認作業」では、たくさんの方々のご協力をいただきました。皆さん、雨の中、ありがとうございました！



この『現地確認作業』の内容をまとめたものは、折込み付録(?)にしております。皆さんも確認してみてください。

安心・安全のため、皆さん、真剣です



京都市では伺ったご意見や調査の結果を踏まえ、検討を進めていますが、お示した700m区間の事業を一気に取り掛かるのが難しいので、いくつかの区間に分割し、最も緊急に対策を必要とする区間を考えるため、6月26日に再び、地元の代表の方々や学校関係者の方々と意見交換をし、700m区間の内、下の図に示すおおよそ真ん中の約300m区間（駐在所の南側の端付近～チェーン脱着所の北側）から改良を進めていくこととしました。

どんな道路になるんだろう...

高雄地区の国道162号が抱えている最大の問題点は「道路に安心して歩ける場所がない」ことです。そこで京都市は、『車の走りやすさ』よりも『歩道を連続させる』ことに重点を置く改良を計画しています。

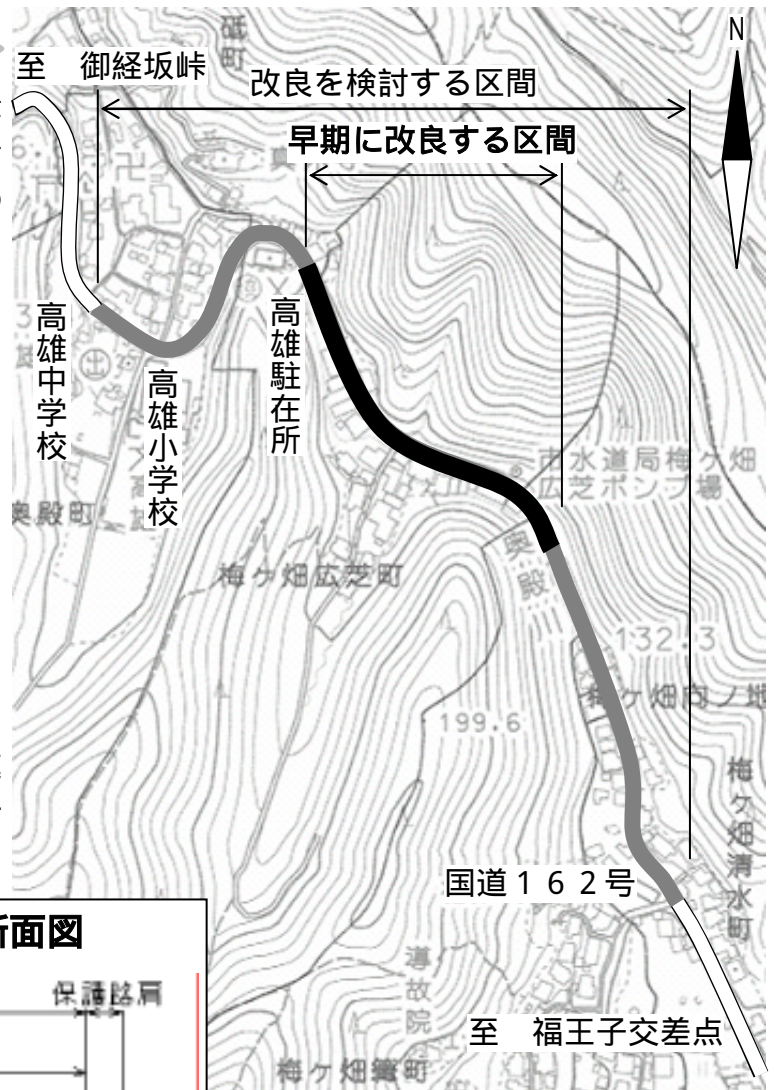
現時点では、

現在の道路線形を大きく変えない（ショートカットなどはしない）

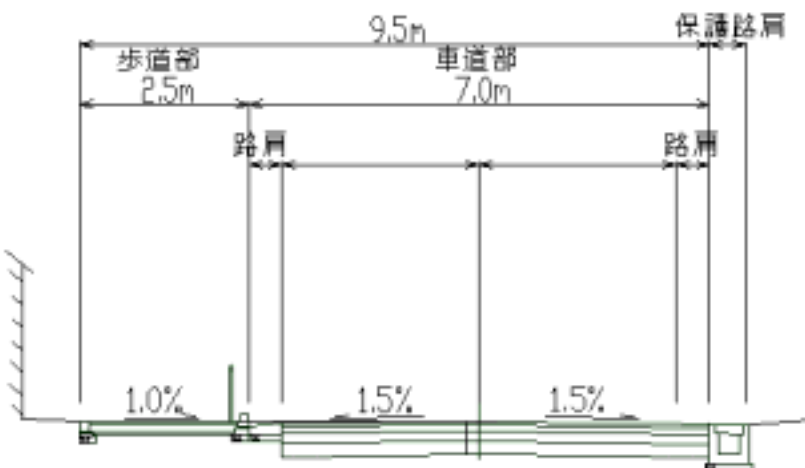
全区間に、幅員2.5m（横断防止柵などの幅も含む）の歩道を、小・中学校側に設置する

大型車が通行してもセンターラインをはみ出さない車道幅を確保する

という3点を道路計画の柱として検討を進め、下の図のような構造の道路の建設を考えています。



改良後の国道162号標準横断面図



曲線部では車道幅が7.0mよりも広くなります

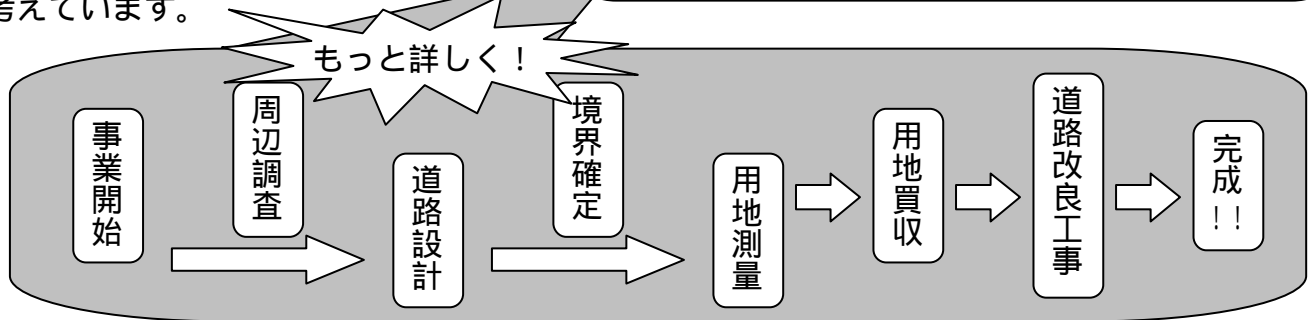
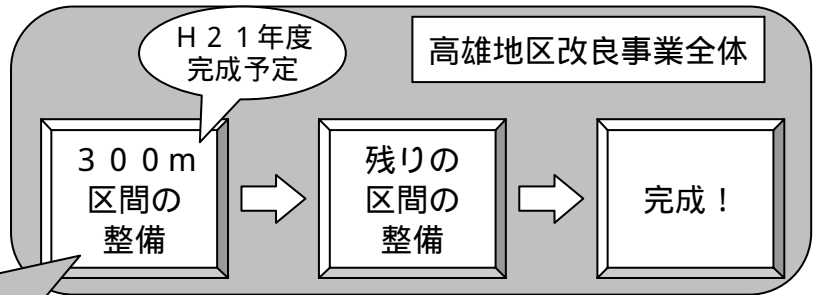
現時点で、山側、川側のどちらに道路を拡幅するかについては確定していません。京都市では、皆さんからのご意見を伺いながら、更に細かく検討を進め、なるべく早い時期に道路改良の全貌をお示ししていきたいと考えています。

今後とも、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

今後のスケジュールについて

現在、改良を計画している700mの内、最初に工事を行う300mについては、具体的な事業計画を進めており、より詳細な検討や詳しい調査とともに、測量など用地に関する作業を行った上で必要な用地を確保し、工事を始めたいと考えています。そして、3年後である平成21年度に事業を完成させる予定です。

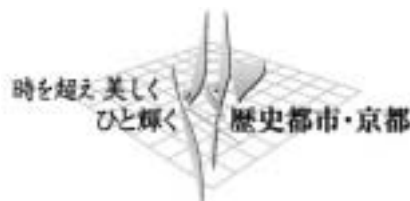
そして、この300m区間の改良と並行して、残っている区間についても積極的に事業化を検討し、早い時期に計画区間全体を改良し、国道162号を安全で快適な道路としていきたいと考えています。



これからよろしくお願いします!

これから、道路を安全、快適にするという共通の目標に向かってみなさんとともに事業を進めていく京都市のメンバーを紹介いたします。これからよろしくお願いします。

名前	京都市建設局道路部道路建設課		
メンバー	道路建設課 課長	佐伯	
	担当課長	大西, 松井	
	合併建設計画担当	西, 高橋	
郵便番号	604-8571		
住所	京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地		
電話番号	075-222-3580		
FAX	075-213-0241		
ホームページ	http://www.city.kyoto.jp/kensetu/douken/index.html		
場所	京都市営地下鉄東西線「京都市役所前」駅下車1番出口 京都市役所北庁舎3階(エレベーターの左斜め前の部屋です)		



京都市建設局道路部道路建設課
TEL(075)222-3580 FAX(075)213-0241

同じです あなたとわたしの 大切さ

平成18年9月 京都市印刷物第184247号